

### 就労移行支援事業所におけるACT-onlineの活用事例

○ 高谷 さふみ(くしろ・ねむる障がい者就業・生活支援センターふれん)  
鈴木 浩江・金橋 美恵子・濱河 麻友・大木 賢憲(社会福祉法人創路のぞみ協会 自立センター) /  
加田 文記(株式会社スタートライン)

<p><b>はじめに</b></p> <p>従来の個人面接のみでは、自立センターでは、就労支援員・相談員・生活支援センター業務支援員がそれぞれについて、個別支援と、就業支援に努めてきた。</p> <p>就業支援は、就職支援の強化を図り、就職支援や生活支援員がそれぞれについて、ACT-onlineを活用し、就業支援と就業支援の強化を図っている。</p>	<p><b>ACTを活用する目的</b></p> <p>ACTオンラインを活用し、就職支援や生活支援員がそれぞれについて、個別支援と、就業支援に努めてきた。</p> <p>就業支援は、就職支援の強化を図り、就職支援や生活支援員がそれぞれについて、ACT-onlineを活用し、就業支援と就業支援の強化を図っている。</p>	<p><b>特徴</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ACT-onlineは、就職支援や生活支援員がそれぞれについて、個別支援と、就業支援に努めてきた。</li> <li>●就職支援や生活支援員がそれぞれについて、ACT-onlineを活用し、就業支援と就業支援の強化を図っている。</li> </ul>	<p><b>活用事例</b></p> <p>就業支援 20%</p> <p>就職支援 10%</p> <p>就業支援 10%</p> <p>就職支援 10%</p> <p>就業支援 10%</p> <p>就職支援 10%</p>
<p><b>ACT-onlineの活用</b></p> <p>ACT-onlineは、就職支援や生活支援員がそれぞれについて、個別支援と、就業支援に努めてきた。</p> <p>就業支援は、就職支援の強化を図り、就職支援や生活支援員がそれぞれについて、ACT-onlineを活用し、就業支援と就業支援の強化を図っている。</p>	<p><b>なぜ、ACT-onlineなのか？(1) 就職支援の強化</b></p> <p>就職支援や生活支援員がそれぞれについて、ACT-onlineを活用し、就業支援と就業支援の強化を図っている。</p>	<p><b>就業支援</b></p> <p>就職支援や生活支援員がそれぞれについて、ACT-onlineを活用し、就業支援と就業支援の強化を図っている。</p>	<p><b>活用事例</b></p> <p>就業支援 20%</p> <p>就職支援 10%</p> <p>就業支援 10%</p> <p>就職支援 10%</p> <p>就業支援 10%</p> <p>就職支援 10%</p>
<p><b>なぜ、ACT-onlineなのか？(2) 就職支援の強化</b></p> <p>就職支援や生活支援員がそれぞれについて、ACT-onlineを活用し、就業支援と就業支援の強化を図っている。</p>	<p><b>なぜ、ACT-onlineなのか？(3) 就職支援の強化</b></p> <p>就職支援や生活支援員がそれぞれについて、ACT-onlineを活用し、就業支援と就業支援の強化を図っている。</p>	<p><b>就業支援</b></p> <p>就職支援や生活支援員がそれぞれについて、ACT-onlineを活用し、就業支援と就業支援の強化を図っている。</p>	<p><b>活用事例</b></p> <p>就業支援 20%</p> <p>就職支援 10%</p> <p>就業支援 10%</p> <p>就職支援 10%</p> <p>就業支援 10%</p> <p>就職支援 10%</p>
<p><b>なぜ、ACT-onlineなのか？(4) 就職支援の強化</b></p> <p>就職支援や生活支援員がそれぞれについて、ACT-onlineを活用し、就業支援と就業支援の強化を図っている。</p>	<p><b>なぜ、ACT-onlineなのか？(5) 就職支援の強化</b></p> <p>就職支援や生活支援員がそれぞれについて、ACT-onlineを活用し、就業支援と就業支援の強化を図っている。</p>	<p><b>就業支援</b></p> <p>就職支援や生活支援員がそれぞれについて、ACT-onlineを活用し、就業支援と就業支援の強化を図っている。</p>	<p><b>活用事例</b></p> <p>就業支援 20%</p> <p>就職支援 10%</p> <p>就業支援 10%</p> <p>就職支援 10%</p> <p>就業支援 10%</p> <p>就職支援 10%</p>



# 就労移行支援事業所におけるACT-onlineの活用事例

15

○ 高谷 さふみ(くしろ・ねむる障がい者就業・生活支援センターぶれん)  
 鈴木 浩江・金橋 美恵子・濱淵 麻友・大水 賢憲(社会福祉法人釧路のぞみ協会 自立センター) /  
 別田 文記(株式会社スタートライン)

## はじめに

社会福祉法人 釧路のぞみ協会 自立センターでは、障害のある障がい者就業・生活支援センター及び就労移行支援事業所において、MWSを活用し、上級業務に取り組んで来た。

障害者支援センターの協力を受けて、精神障害や発達障害のある対象者に対してACT-onlineを活用し、上級業務及び職業生活に向けた準備を進めている。

## ACT-onlineの概要

ACT-onlineはACTエクササイズをWeb上で実施できるシステムである。



## なぜACT-onlineなのか？

「ACT-online」は、12カテゴリーの課題を、WEB上で実施できるシステムである。



## なぜACT-onlineなのか？

「ACT-online」は、12カテゴリーの課題を、WEB上で実施できるシステムである。



## ACTを活用する目的

ACT(アクティブライフ・コメントセラー)を運用し、心理的柔軟性を身に付け活発な職業生活を営む。

不安や不安定な感情や考えがあっても、自分自身の大切なことに向けて行動を続けることができる能力を高める。

## サポート

ACT実施施設は、株式会社スタートラインと情報のやり取りが可能となっている。

実施施設は、株式会社スタートラインでも確認でき、施設の要約に応じて、専門的なアドバイスやサポートを受けることができる。

株式会社スタートラインが実施対象者の状況から考察した今後の支援のポイント、具体的な対応について、施設は助言を受けることができる。

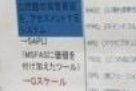
## 実施概要①

対象者：精神障害者 20名  
 発達障害者 16名  
 実施期間：平成30年5月11日  
 ～平成30年8月15日  
 エクササイズ実施回数：3437回



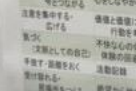
## なぜACT-onlineなのか？

「ACT-online」は、12カテゴリーの課題を、WEB上で実施できるシステムである。



## エクササイズカテゴリ

12カテゴリーの課題を、WEB上で実施できるシステムである。



## 実施概要②

- STEP1 SAPLI、Qスケールによる情報の把握、心理的柔軟性の確認と課題、心理教育
- STEP2 「これについて学ぶ」を実施、ACTの有効性を教示、エクササイズ「価値」に沿った行動を考えるを実施、自身の価値について明らかにした。
- STEP3 ACTエクササイズを実施し行動活性化を繰り返的に支援する。

## 事例報告①～概要～

○対象者 Aさん(♂ 42才)  
 精神保健福祉手帳 3級  
 ○生活歴  
 高校卒業後、2社に就職するが対人関係の悪化から退職、自殺企図あり、解離性人格障害、発達障害の診断を受ける。  
 手帳取得後、病院の事務職に就職するも会社が自分の能力に見合ったレベルの高い仕事を与えない事に怒り2週間で退職。その後、就労移行支援事業所を利用する。



## 事例報告②～支援の経過～

①就労移行利用開始時では、私的出来事とその事実体感に陥れる、体感の回避を繰り返してフュージョンに不安を感じることが続いていた。  
 ②MWS、SAPLIを活用し、疲労と休憩の関係や作業効率を上げるための様々な手段の獲得、メモリーの活用を行った。  
 ③開始時にQスケール、を実施し今後の取り組みを計画した。ヘルスログは出勤時と午後開始の1日分、実施したエクササイズは176回である。

## 事例報告③～結果～

心理的柔軟性尺度 14ポイント↑  
 別フュージョン 16ポイント↑  
 体感の回避行動の減少 9ポイント↑  
 価値に沿った行動の増加 11ポイント↑  
 セルフコンパッション 10ポイント↑

## 事例報告③～結果～

※ACT-online開始後、1ヶ月経過後から対象者のコメントに変化が現れた。あるがままの自分を受け入れ、価値に向かった行動が増加してきた。

- 心理的柔軟性尺度 14ポイント↑
- 別フュージョン 16ポイント↑
- 体感の回避行動の減少 9ポイント↑
- 価値に沿った行動の増加 11ポイント↑
- セルフコンパッション 10ポイント↑

## まとめ

- ACT-onlineは、タブレットやスマートフォンでも利用可能であり、どこにいても活用できる。
- 就職準備期から就職後も利用することができる。タイムリーに対応でき継続的な支援の方法として有効と考える。
- 対象者と支援者、企業、医療とも情報共有でき職種決定への大きな柱になると考えられる。
- 支援者のACTIに対する継続的な研修も必要





15

### 就労移行支援事業所におけるACT-onlineの活用事例

- 高谷 さふみ(くしろ・ねむる障がい者就業・生活支援センターふれん)
- 鈴木 浩江・金橋 美恵子・濱河 原友・大木 賢憲(社会福祉法人調路のそみ協会 自立センター) / 朝田 文記(株式会社スタートライン)

【目的】 ACT-onlineを活用し、就職支援業務の効率化を図る。また、就職支援業務の透明化を図る。また、就職支援業務の標準化を図る。

【効果】 ACT-onlineを活用し、就職支援業務の効率化を図る。また、就職支援業務の透明化を図る。また、就職支援業務の標準化を図る。

【課題】 ACT-onlineを活用し、就職支援業務の効率化を図る。また、就職支援業務の透明化を図る。また、就職支援業務の標準化を図る。

【今後の展望】 ACT-onlineを活用し、就職支援業務の効率化を図る。また、就職支援業務の透明化を図る。また、就職支援業務の標準化を図る。

【お問い合わせ】 ACT-onlineを活用し、就職支援業務の効率化を図る。また、就職支援業務の透明化を図る。また、就職支援業務の標準化を図る。

【お問い合わせ】 ACT-onlineを活用し、就職支援業務の効率化を図る。また、就職支援業務の透明化を図る。また、就職支援業務の標準化を図る。

【お問い合わせ】 ACT-onlineを活用し、就職支援業務の効率化を図る。また、就職支援業務の透明化を図る。また、就職支援業務の標準化を図る。

【お問い合わせ】 ACT-onlineを活用し、就職支援業務の効率化を図る。また、就職支援業務の透明化を図る。また、就職支援業務の標準化を図る。

【お問い合わせ】 ACT-onlineを活用し、就職支援業務の効率化を図る。また、就職支援業務の透明化を図る。また、就職支援業務の標準化を図る。

【お問い合わせ】 ACT-onlineを活用し、就職支援業務の効率化を図る。また、就職支援業務の透明化を図る。また、就職支援業務の標準化を図る。

【お問い合わせ】 ACT-onlineを活用し、就職支援業務の効率化を図る。また、就職支援業務の透明化を図る。また、就職支援業務の標準化を図る。

【お問い合わせ】 ACT-onlineを活用し、就職支援業務の効率化を図る。また、就職支援業務の透明化を図る。また、就職支援業務の標準化を図る。



